

# ムギ類赤かび病情報第1号

平成28年4月15日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除室

## 今後の天候に注意！

名古屋地方气象台4月14日発表の1か月予報によれば、天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が少なく、気温は高く、降水量は多い見込みです。

このため、この時期に出穂期や開花期を迎えるほ場では、本病の感染に好適な条件になる可能性があります。

感染予防のための防除時期は、開花期（出穂5～10日後）です。適期に必ず防除を実施しましょう。

「きぬあかり」では、すでに防除適期が過ぎたほ場もありますが、ほ場により生育状況が異なるので、ほ場ごとの生育状況にあわせて適期防除に努めましょう。なお、オオムギについても、ほ場ごとの生育状況にあわせて適期防除に努めましょう。

赤かび病の発生は、ムギの出穂期以降の平均気温が18℃を越え、湿度が高い状態が数日続く場合に多くなります。

このような気象条件となった場合は、1回目の防除から約7～10日後に2回目の防除を実施しましょう。

表 ムギ類赤かび病の主な防除薬剤

作物名	薬剤名	使用時期	本剤の使用回数
麦類	ワークアップ乳剤	収穫7日前まで	3回以内
小麦	ベルコート水和剤	収穫21日前まで	3回以内 (出穂期以降は1回以内)
	ストロビーフロアブル	収穫14日前まで	3回以内
	トップジンM水和剤	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降は2回以内)
	トップジンMゾル		
	ベフラン液剤12.5	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降は1回以内)
	ベフラン液剤25		
	シルバキュアフロアブル	収穫7日前まで	2回以内
	チルト乳剤25	収穫3日前まで	3回以内
	トリフミン乳剤	収穫3日前まで	3回以内
無人ヘリコプター用			
作物名	薬剤名	使用時期	本剤の使用回数
麦類	ワークアップフロアブル	収穫7日前まで	3回以内
小麦	トップジンMゾル	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降は2回以内)
	チルト乳剤25	収穫7日前まで	3回以内
	シルバキュアフロアブル	収穫7日前まで	2回以内

薬剤の使用に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。